

高校生が地域の魅力を武器に戦う 「観光甲子園」開催！

企画課の入江です。入江としては4ヶ月ぶりのコラム寄稿です。

年々暑さを増しているようにも思える夏の猛暑ですが、9月に入って気分は秋！きっと猛暑のピークは過ぎているものと信じて、残り短い(はずの)残暑を耐え抜くのみです。

さて、猛暑のピークだった8月、その最終週に、全国の高校生が「地域の魅力」を武器に火花を散らす、全国高校生観光プランコンテスト「観光甲子園」が神戸市内の大学で開催されました。(主催：同大会組織委員会)



本大会は、全国の高校生が自分たちの地域の魅力を活かした観光プランを提案し競い合うもので、高校生を主体とした地域の観光プランづくりを通して学校における観光教育の推進を図り、また取組みをきっかけとして地域の振興を図っていくことが期待されています。

8月に私が参加してきたのは、いわば決勝戦。応募総数75校・125プランの中から選ばれし10校の学生たちが、審査委員のほか一般聴衆や報道陣の前で観光プランのプレゼンテーションを行いました。

まず感心したのは、それぞれの観光プランの一貫したテーマ性です。地域の文化遺産や土産店を漫然と総花的に周遊するのではなく、ある特定の嗜好の人間を念頭に置き、一本の骨太なテーマにこだわって観光資源を組み合わせたプランがほとんどでした。

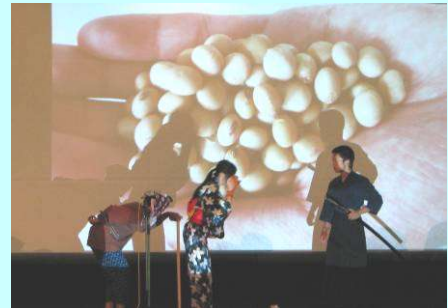


中でも驚愕したのは島根県の松江市立女子高等学校が提案する「あなたの幸せこちらです ~風水で行く 松江の旅~」。何と、普通なら旅行者側が休暇期間を中心に旅行日程を決めるところを、地域の側が風水で日程を占って決めてしまうという、逆転の発想！勿論単なる顧客無視ではありません。世間には何かキッカケがないと行動できない人たちがたくさんいます。そんな人たちにも旅行に来てもらいたい一心から、風水をキッカケにしようというのです。また土日祝日に固まりがちな旅行が

平日にも分散・平準化される、地域にも旅行客にも優しいプランです。周遊先も穴道湖などのパワースポットを巡るもので、オーラとかスピリチュアルみたいなものが好物なOLさんにとっては格好の餌食！本プランはターゲット・テーマ設定の適切さや、何よりその発想の斬新さによりグランプリを獲得する快挙を成し遂げました。(あまりに前衛的なので特別賞枠かとも思っていました)

もう一点はプレゼンテーションのユニークさ。基本的にはスライドをめくって説明していくのですが、そこはさすが高校生、若くてまだ柔らかい脳を使って、各校様々な「魅せ方」で楽しませてくれました。

特に面白かったのは愛媛県立上浮穴高校の「侍 ~心の道~」。外国人旅行者を対象に武士道、侍の心の道を知ってもらうための体験プランですが、各所に寸劇を散りばめたそのプレゼンは、まさに BUSHIDO でした。(写真)



また、各校のユニークなプレゼンテーションを見て何より強く感じたのは、各校の学生がとにかく、自分たちのプランを良く知ってもらおう、楽しんでもらおうと一所懸命に知恵を絞っている様子です。プレゼンでの知恵の絞り方を見れば、いかにプランづくりに対して真剣に取り組んできたか、いかに地域の魅力を伝えようとしているか、ビシビシ伝わってきます。

各校の地域の「大人」の方々も、高校生の真剣さに感化されて、全面的に協力をしてきているようです。「教育」は将来を担う子供たちへの種まきのようなものだと思っていましたが、今を担う大人たちをも元気にする効果があるのだ、という素敵な気づきをもたらした夏の日なのでした。

< 「観光甲子園」公式サイト >

出場校や審査結果等についてはこちらをご覧ください。

<http://www.kobeshukugawa.ac.jp/kanko-koshien/index.html>